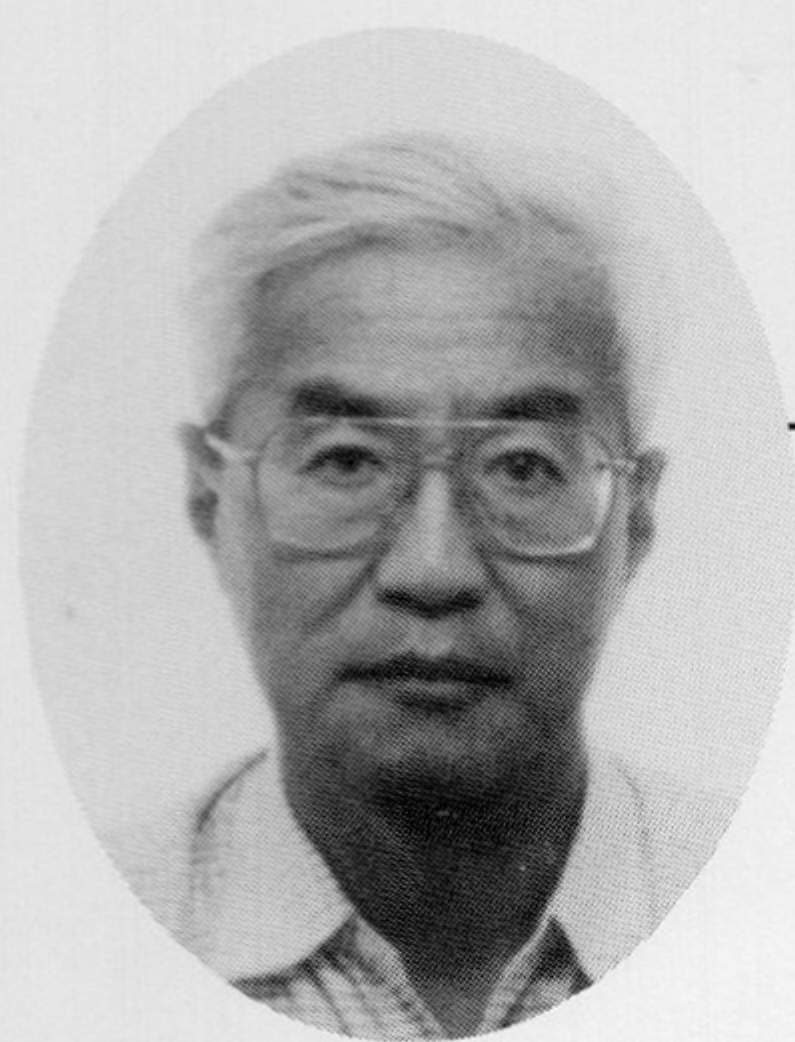


「この頃熱中したこと」

畑谷 守良



定年退職後7年間パート勤め(非常勤講師)の後、現

在は何もしていません。

丁度勤めをやめた頃に次に述べるような事に熱中し始め、最近ようやくその仕事が一段落したところです。

さて、その熱中したこととは…。

同窓会新聞に掲載されたのでご承知のこととは思いますが…。

中学校時代の音楽の先生(生内義夫先生)を憶えておりますか？

当時、先生は教員をしながら盛岡で「いわてフィルハーモニックソサエティ」という合唱団を組織し自らの作品(主に合唱曲)の発表会を何回か行っておりました。

私もそれを聴きに行った記憶があり、聴いた曲のメロディも微かに残っておりました。

その発表会や練習時の録音テープ(我々の高校時代オープンリール式の器械が既にあつたのです)を偶然入手し、それを基に先生の作品のいつかの復元に熱中した訳です。

最初、テープからの聴音、採譜を試みましたが、何せ全くの畑違いの作業だけに仲々進まなかったのですが、強力な助人が居り一気に採譜が進んだのです。

一方、歌詞の方は、新6回生佐川隆二君が作詞者の水原先生から発表会の際の「しおり」を得て、これは完全に復元できたのです。

この経緯を同窓会報に投稿したところ当時の合唱団員から色々な資料の提供があり、前述の佐川君が楽譜からパソコンでCDに録音する作業をして呉れ、先生の作品約十曲をCD-R化し、母校や当時のメンバーの方に配ることが出来ました。

合唱団のメンバーは男子は本校生、女子は岩女高と盛岡高(現二高)の皆さんです。

本校の先輩方から当時使用した楽譜を、二高OGの方々からは様々な情報を手紙や電話で頂き、中には電話口で歌って正しいメロディを伝えて呉れたおばさんも居りその協力ぶりには驚かされました。

完成したCD-Rには先生が若さと情熱を傾け、郷土岩手を題材とし作曲した「交声曲三部作」「岩手山」「北上川」「三陸海岸」や我々が中2のとき教わった「岩手青年の歌」「ふるさとの」等の曲もあり、これらのうち「岩手山」と「岩手青年の歌」は前奏、間奏、後奏と伴奏譜付きの完全なもので、再現演奏された曲を聴きその見事な出来映えと先生の実力の奥深さに驚きました。

このCD-Rは楽譜と共に母校同窓会事務に納めてきましたので興味と関心のある方は母校へお出で下さい。

これを機に、盛岡で有志の方々が先生の作品の演奏会を…という話もあるとのことで実現すれば是非それを聴くために盛岡を訪れ、当時を懐しみたいと思っております。



古郷の

作詞 石川 啄木
作曲 生内 義夫

1 2 3 4
ふ る - さ - と - の や - ま に む

5 6 7 8
か いて い う こ と な - し ふ る さ と の や

9 10 11
ま - は あ り か た き か な

$\text{♩} = 78$ $\text{♩} = 30, \text{♩} = 80$

岩手青年の詩

作詞 不詳
作曲 生内 義夫

そ ら が よ

ぶ そ ら が よ ぶ く も の

あ ち ら の あ お そ ら が あ さ だ

か た だ は た か せ だ さ び -

た て - つ さ は き - れ -

た の - だ ゆ こ う

よ い わ て の ゆ こ う よ

せ い ね ん